



## はじめに

この洪水ハザードマップは、岐阜県が公表した浸水想定区域図を基に、大雨により河川が氾濫した場合に想定される浸水の範囲や深さ、避難に関する情報を地図にまとめたものです。

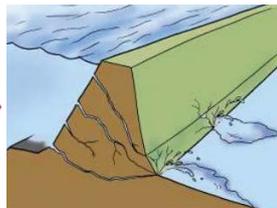
この地図をガイドブックとして、浸水が起こりそうな場所を把握し、避難場所まで実際に歩いて避難経路の確認を行うなど、日頃からの災害に対する備えとして役立ててください。

## 水害発生メカニズム（洪水）

◎洪水は、大雨による河川の増水により、堤防が決壊するか、川の水が堤防を越えるなどして起こります。



大雨によって川の水が増え、水かさ上がり始めます。



堤防いっぱいまで水が増えると、堤防に水の圧力がかかり始めます。



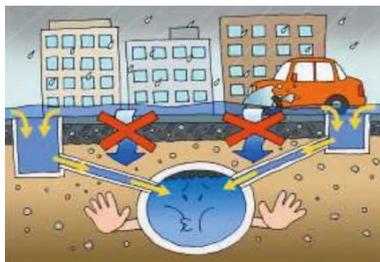
水が増え、水の力に堤防が耐えられなくなり、堤防の一部が崩れ始めます。



崩れた場所は一気に広がり、勢いよく水が流れ出し、家などに襲いかかります。

## 水害発生メカニズム（内水）

◎内水（ないすい）氾濫は、大雨により下水道から川への排水が間に合わなかったり、逆流して市街で水があふれる現象です。



下水道の排水能力を超える雨が降った場合に、下水道から水があふれたり、下水道に入りきらず地上に溜まったままになります。



街などに降った雨は、下水道を通して川に排水されます。



大雨が降ると川の水位が上がり、排水されにくくなり、下水道などがあふれてしまいます。